

2 主な整備箇所(地域版)

4 山口・防府地域の現状と課題

- 課題等**
- 企業の立地や産業を支える道路網の整備
 - 地域資源を活用した観光振興に寄与する周遊ルートの形成
 - 県央部としての、県内外との交流・連携強化
 - こどもの事故削減
 - 救急医療施設への搬送時間短縮
 - 災害時等にも機能する信頼性の高い道路網整備
 - 道路施設(橋梁・トンネル等)の老朽化対策

救急時の対応

【2次救急医療機関の圏域】

山口市北部地域は、2次救急医療機関がないため、30分以内で到達できない空白地帯となっています。

資料:H22道路交通センサス

行政・文化・教育機能が集積

山口県の道路の顔「パークロード」

山口市のほぼ中心、県庁前からJR山口駅方面に延びる延長800mの「パークロード」周辺は、市役所や合同庁舎のほか県立博物館、美術館、博物館等の文化施設にも囲まれています。また、ケヤキを中心とする約1万本の樹木が、初夏の新緑、秋の紅葉に彩られるなど、うるおいと季節感にあふれる道路として、日本の道100選に選ばれました。

近年の災害発生状況

平成25年7月28日、山口市(山口)で1時間に143.0mmという山口県内で観測史上1位、全国でも歴代11位の雨を観測し、国道9号や国道315号が通行止になるなど甚大な被害が発生しました。

資料:気象庁

橋梁の耐震補強

大規模地震時に緊急輸送道路の橋梁や離島架橋、跨線橋、跨道橋が倒壊や落橋すると、救急・救援活動や緊急物資の輸送などに重大な支障が生じます。

道路施設の老朽化

道路施設の老朽化は、利用者の安全性の確保に支障となるだけでなく、ネットワークの寸断等により社会経済活動の停滞をもたらす恐れがあります。

こどもの死傷者数

平成26年のこどもの死傷者数は、下関地域と並んで県内最多です。こどもを事故から守るための取組が必要です。

【地域別こどもの死傷者数(H26)】

資料:交通統計 平成26年(山口県警察本部)

充実した大規模イベント開催施設

山口・防府地域は、山口きらら博記念公園や維新百年記念公園といった施設が立地しており、大規模なイベントが開催されています。

山口きらら博記念公園

平成27年7月28日から8月8日まで「第23回世界スカウトジャンボリー」が開催され、全世界から3万人以上のスカウトが集まりました。

全国都市緑化フェアは、都市緑化に関する意識の高揚や、知識の普及等を目的として、昭和58年度から全国各地で開催されています。平成30年秋には山口県で開催されることとなりました。

維新百年記念公園

2016シーズンからJ2リーグに昇格したレノファ山口FCのホームゲームも開催されています。

2018年には、陸上の日本選手権開催が決まっています。

企業立地

山口テクノパークをはじめとした大規模な産業団地が整備されており、交通のアクセスの良さや津波や地震などの災害リスクの少なさから、多くの企業に進出頂いています。

また、三田尻中関港は、山口県瀬戸内海沿岸の中央部に位置し、背後には、国内有数の大手自動車メーカーを中心とした自動車関連企業が主に立地しています。大型PCC船(自動車専用船)に積み込まれた完成自動車が、北米や欧州、豪州など世界各国へ配送されています。

2 主な整備箇所(地域版)

4 山口・防府地域のみちづくり

整備が求められる主な路線

I 産業・地域を『支える』

- 物流等の迅速化・円滑化
- 観光客の利便性の向上
- 交流・連携の強化
- バイパス整備や交差点改良等による渋滞対策の推進

4-a	県道防府環状線
4-b	県道宇部防府線

等

II 人々のいのちを『守る』

- 生活道路等における交通安全対策の推進
- 救急医療施設への搬送時間の短縮

4-c	県道高井大道停車場線
4-d	県道宮野上佐々並線

等

III 災害に『備える』

- 広域道路ネットワークの構築や安心・安全な生活道路の整備
- 防災・減災対策の推進
- 橋梁の耐震補強

4-e	国道489号
4-f	県道山口防府線

等

IV 未来に『つなぐ』

- 老朽化した道路施設の計画的な修繕・更新等
- 日常的な維持管理の充実・効率化
- 異常気象時等の対応

国道262号
県道山口宇部線

等

- バイパス
 - 現道拡幅
 - 自歩道整備
 - 歩道整備
 - 交差点改良
 - のり面对策
 - 耐震化
 - 長寿命化
 - スマートインターチェンジ
- 道の駅

◎ 県庁、市役所等



主な整備中箇所

No.	路線名 (工区名等)	内容	道路整備 目標	4つの方針			
				支える	守る	備える	つなぐ
4-1	中国縦貫自動車道 (湯田PA)	スマート インターチェンジ	完成 (H31)	●	●	●	●
4-2	国道2号 (富海拡幅)	現道拡幅	事業継続	●	●	●	●
4-3	国道489号 (横山拡幅)	現道拡幅	事業継続	●	●	●	●
4-4	県道萩篠生線 (銅)	バイパス	完成	●	●	●	●
4-5	県道防府環状線 (牟礼)	バイパス	事業継続	●	●	●	●
4-6	県道山口秋穂線 (鑄銭司)	バイパス	事業継続	●	●	●	●
4-7	県道陶湯田線 (黒川)	バイパス	事業継続	●	●	●	●
4-8	県道宮野上山口停車場線 (下志路)	バイパス	完成	●	●	●	●
4-9	県道防府徳地線 (鈴屋)	歩道整備	完成	●	●	●	●
4-10	県道小郡三隅線 (小郡上郷)	交差点改良	事業継続	●	●	●	●
4-11	県道高井大道停車場線 (台道)	自歩道整備	完成	●	●	●	●
4-12	県道宮野上佐々並線 (宮野上七房)	歩道整備	完成	●	●	●	●
4-13	都計道環状一号線 (県道防府環状線) (牟礼柳～沖今宿)	バイパス	完成	●	●	●	●
4-14	都計道戎町迫戸線 (県道三尻港徳地線) (戎町～宮市町)	歩道整備	完成	●	●	●	●
4-15	都計道泉町平川線 (県道陶湯田線) (湯田温泉～平井)	自歩道整備	部分完成	●	●	●	●
4-16	都計道新山口駅長谷線 (県道新山口停車場長谷線) (小郡下郷)	現道拡幅	完成	●	●	●	●
4-17	県道山口防府線 (山口跨線橋)	耐震化	完成	●	●	●	●
4-18	県道防府環状線 (富海)	のり面对策	事業継続	●	●	●	●
4-19	国道262号 (佐波トンネル)	長寿命化	完成	●	●	●	●
4-20	県道山口宇部線 (割木松橋)	長寿命化	完成	●	●	●	●

ここで示す「道路整備目標」は、予算の確保、用地取得等が予定通りに進捗した場合の現時点における目標を示したものです。

2 主な整備箇所(地域版)

4 山口・防府地域の主な整備中箇所

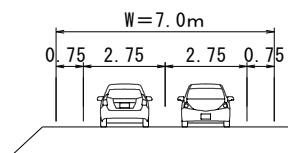
4-1 中国縦貫自動車道 ((仮称)湯田PAスマートインターチェンジ)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	スマートインターチェンジ
● 延長	L=2.2km
● 幅員	W=7.0m
● 着手年度	平成26年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 湯田温泉等へのアクセス性を向上し、観光振興を図ります。
- ◆ 県立総合医療センターへのアクセスを強化し、救急時における救命率の向上を図ります。
- ◆ 地域内連携の強化を図ります。

イメージ



出典:国土交通省HP

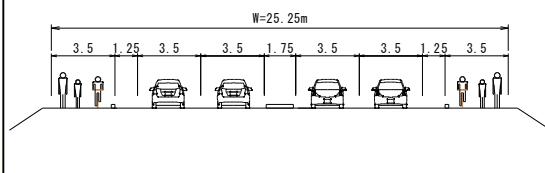
4-2 国道2号(富海拡幅)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	現道拡幅
● 延長	L=3.6km
● 幅員	W=25.25m
● 着手年度	平成23年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 周南市から防府市間における国道2号の渋滞を緩和します。
- ◆ 線形不良箇所の解消や中央分離帯を設置し、安全で円滑な交通を確保します。



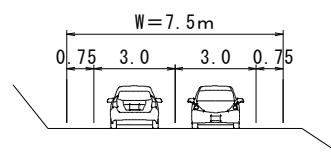
4-3 国道489号(横山拡幅)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	現道拡幅
● 延長	L=1.2km
● 幅員	W=7.5m
● 着手年度	平成25年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 車両のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 緊急輸送道路として災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します。
- ◆ 中国縦貫自動車道徳地ICや国道9号へのアクセス性を向上します。



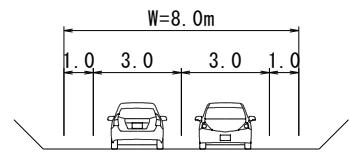
4-4 県道萩篠生線(銅)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	バイパス
● 延長	L=1.4km
● 幅員	W=8.0m
● 着手年度	平成15年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 急なカーブで見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 萩から津和野間における広域観光ルートを整備し、観光振興を図ります。
- ◆ 緊急輸送道路として災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します。



2 主な整備箇所(地域版)

4 山口・防府地域の主な整備中箇所

4-5 県道防府環状線(牟礼)

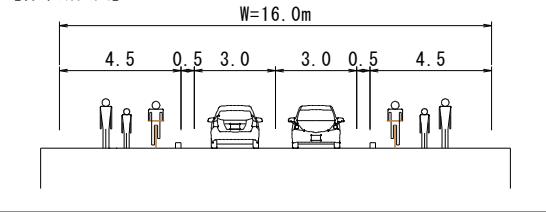
支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	バイパス
● 延長	L=0.6km
● 幅員	W=16.0m
● 着手年度	平成26年度



【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 環状道路の形成により、市街地の渋滞を緩和します。
- ◆ 三田尻中関港から山陽自動車道や国道2号へのアクセス性を向上し、物流等の迅速化・円滑化を図ります。
- ◆ 歩行者及び自転車利用者の通行の安全を確保します。



4-7 県道陶湯田線(黒川)

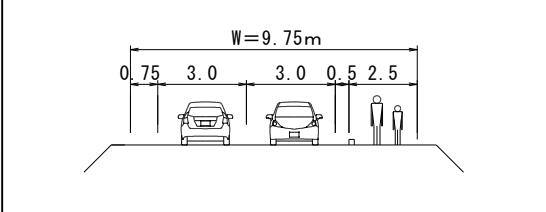
支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	バイパス
● 延長	L=0.8km
● 幅員	W=9.75m
● 着手年度	平成24年度



【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者の通行の安全を確保します。
- ◆ リハビリ施設へのアクセス性を向上します。
- ◆ 山口市街地へのアクセス性を向上します。



4-6 県道山口秋穂線(鑄銭司)

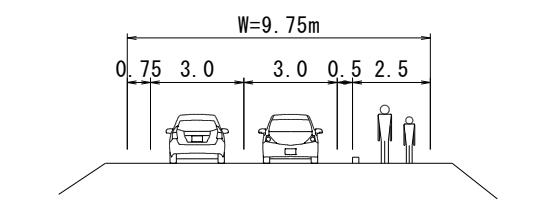
支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	現道拡幅
● 延長	L=1.3km
● 幅員	W=9.75m
● 着手年度	平成25年度



【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 車両のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 荷重制限がある橋を回避し、円滑な通行を確保します。
- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者の通学の安全を確保します。



4-8 県道宮野上山口停車場線(下恋路)

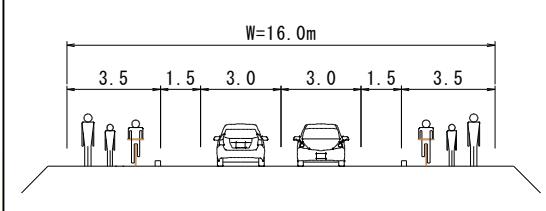
支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	バイパス
● 延長	L=0.7km
● 幅員	W=16.0m
● 着手年度	平成21年度



【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 道路幅員が狭く車両のすれ違いが困難な箇所を解消します。
- ◆ 国道262号へのアクセス性を向上します。
- ◆ 歩行者及び自転車利用者の通行の安全を確保します。



2 主な整備箇所(地域版)

4 山口・防府地域の主な整備中箇所

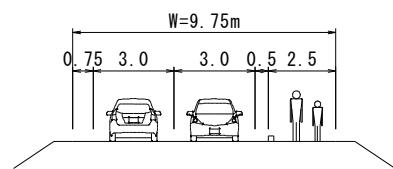
4-9 24 県道防府徳地線(鈴屋)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	歩道整備
● 延長	L=1.3km
● 幅員	W=9.75m
● 着手年度	平成27年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者の通行の安全を確保します。
- ◆ 車道を拡幅し、安全で円滑な通行を確保します。



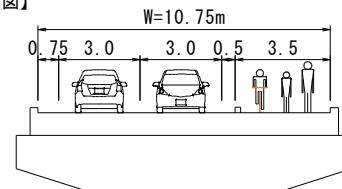
4-11 187 県道高井大道停車場線(台道)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	自歩道整備
● 延長	L=0.3km
● 幅員	W=10.75m
● 着手年度	平成27年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 歩行者及び自転車利用者の通行の安全を確保します。
- ◆ 車道を拡幅し、安全で円滑な通行を確保します。



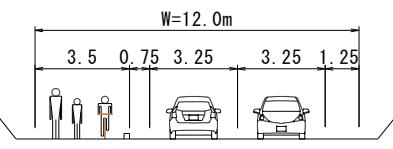
4-10 28 県道小郡三隅線(小郡上郷)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	交差点改良
● 延長	L=0.6km
● 幅員	W=12.0m
● 着手年度	平成17年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 新町交差点における食い違いを解消し、自動車事故の発生を防ぎます。
- ◆ JR山口線と立体交差化することで、安全で円滑な交通を確保します。
- ◆ 歩行者及び自転車利用者の通行の安全を確保します。



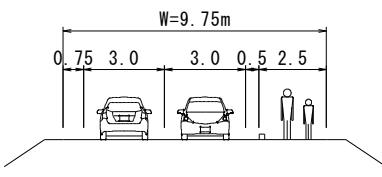
4-12 196 県道宮野上佐々並線(宮野上七房)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	歩道整備
● 延長	L=1.2km
● 幅員	W=9.75m
● 着手年度	平成28年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者の通行の安全を確保します。
- ◆ 車道を拡幅し、安全で円滑な通行を確保します。



2 主な整備箇所(地域版)

4 山口・防府地域の主な整備中箇所

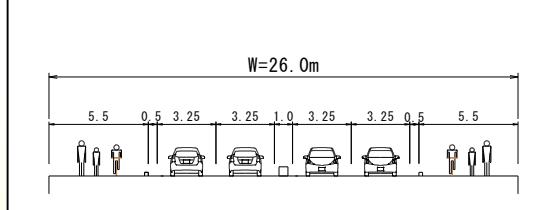
4-13 都計道環状一号線(牟礼柳～沖今宿) 〈58 県道防府環状線〉

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	バイパス
● 延長	L=0.9km
● 幅員	W=26.0m
● 着手年度	平成8年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 環状道路の形成により、市街地の渋滞を緩和します。
- ◆ 山陽自動車道等へのアクセス性を向上し、物流等の迅速化・円滑化を図ります。
- ◆ 歩行者の通行の安全を確保します。



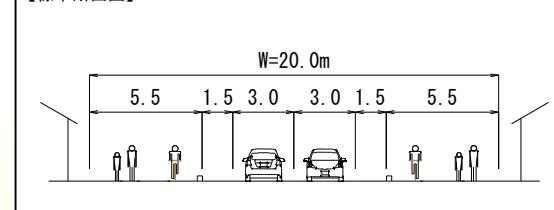
4-15 都計道泉町平川線(湯田温泉～平井) 〈200 県道陶湯田線〉

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	自歩道整備
● 延長	L=0.9km
● 幅員	W=20.0m
● 着手年度	平成16年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車利用者の通行の安全を確保します。
- ◆ 市道東山通り下矢原線と一体的に整備することにより、市街地の円滑な交通を確保します。



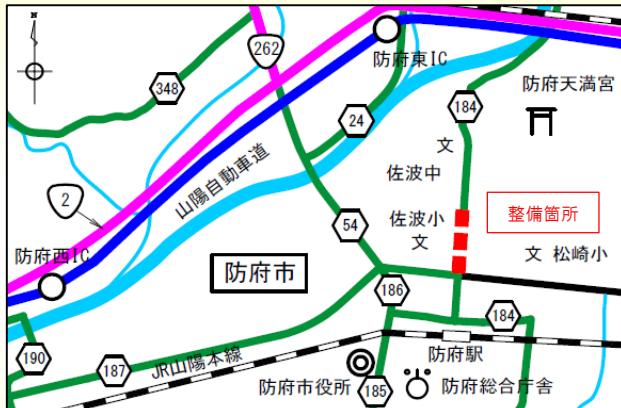
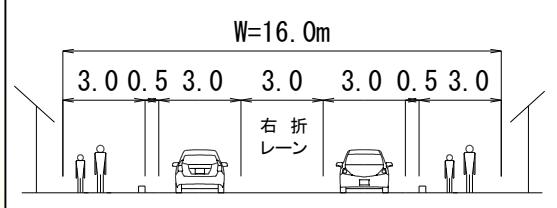
4-14 都計道戎町迫戸線(戎町～宮市町) 〈184 県道三田尻港徳地線〉

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	歩道整備
● 延長	L=0.4km
● 幅員	W=16.0m
● 着手年度	平成22年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者の通行の安全を確保します。



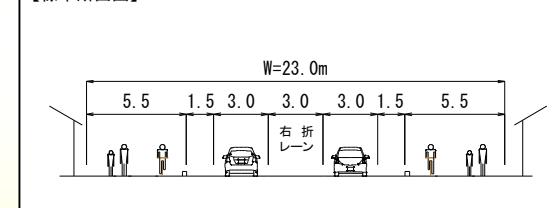
4-16 都計道新山口駅長谷線(小郡下郷) 〈214 県道新山口停車場長谷線〉

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	現道拡幅
● 延長	L=0.3km
● 幅員	W=23.0m
● 着手年度	平成25年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ JR新山口駅と山口宇部道路長谷ICを直結することにより、広域交通ネットワークを形成し、移動の効率化を図ります。
- ◆ 駅前広場と一体的に整備し、交通結節点機能を強化するとともに、にぎわいある市街地形成に寄与します。



2 主な整備箇所(地域版)

4 山口・防府地域の主な整備中箇所

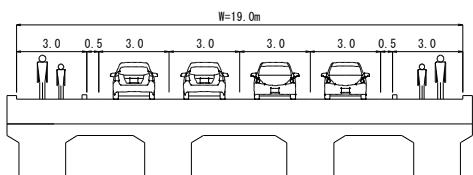
4-17 21 県道山口防府線(山口跨線橋)

支える	守る	備える	つなぐ
		●	

概要

● 内容	耐震化
● 延長	L=0.09km
● 幅員	W=19.0m
● 着手年度	平成24年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 大地震時に落橋に至るような致命的な被害を防止するだけでなく、地震後、橋梁としての機能の回復が速やかに行い得る性能を確保します。
- ◆ 橋梁の機能を保持し、長寿命化を図ります。
- ◆ 維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図ります。



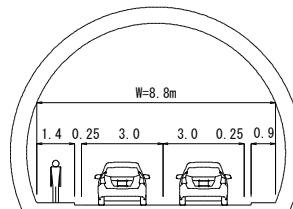
4-19 262 国道262号(佐波山トンネル)

支える	守る	備える	つなぐ
			●

概要

● 内容	長寿命化
● 延長	L=0.6km(上り)、0.7km(下り)
● 幅員	W=8.8m
● 着手年度	平成24年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ トンネルの定期点検結果を踏まえ、健全度が低下する前に補修や補強等の適切な措置を実施、施設の長寿命化を図ります。



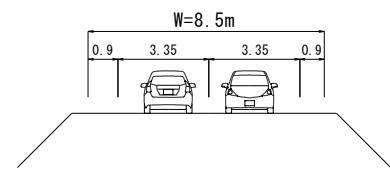
4-18 58 県道防府環状線(富海)

支える	守る	備える	つなぐ
		●	

概要

● 内容	のり面対策
● 延長	L=0.3km
● 幅員	W=8.5m
● 着手年度	平成24年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 道路利用者の安全な通行や災害時の円滑な緊急輸送を確保します。



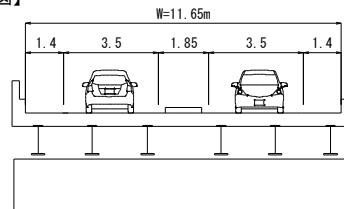
4-20 6 県道山口宇部線(割木松橋)

支える	守る	備える	つなぐ
			●

概要

● 内容	長寿命化
● 延長	L=0.04km
● 幅員	W=11.65m
● 着手年度	平成25年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 橋梁の機能を保持し、長寿命化を図ります。
- ◆ 維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図ります。



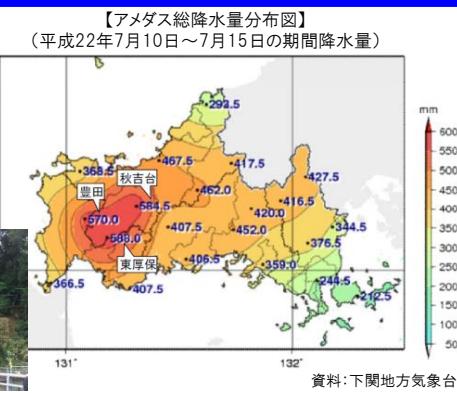
2 主な整備箇所(地域版)

5 宇部・小野田地域の現状と課題

- 課題の概要**
- 産業を支える迅速かつ円滑な**物流**の実現
 - 広域交通拠点(山口宇部空港等)から観光地へのアクセス強化による**観光客の利便性**向上
 - 交通事故の減少・歩行者の**安全性**向上
 - 災害**時等にも機能する信頼性の高い道路網の整備
 - 道路施設(橋梁・トンネル等)の**老朽化**対策

県内共通 近年の災害発生状況

平成22年7月10日から15日までの総雨量は、美祢市東厚保で588.0ミリ、美祢市秋吉台で584.5ミリを記録するなど、7月の平年の月降水量の1.5倍を超える大雨となりました。JR美祢線の鉄道橋りょうが流失したほか、国道316号や県道下関美祢線の寸断など市民生活に大きな影響を与えました。



県内共通 交通安全に関するニーズ

県政世論調査によると、今後の道路整備を進めるにあたっては、「交通事故の減少・歩行者の安全性向上」が必要であるという声が多く寄せられています。



増加する観光客

宇部・小野田地域の観光客数は年々増加しています。平成27年3月には、ときわ公園内の動物園がリニューアルオープンするなど、今後も順調に増加していくことが期待されます。

【宇部・小野田地域(宇部市、山陽小野田市、美祢市)の観光客】

年度	観光客数
H23	2,900,000
H24	3,000,000
H25	3,100,000
H26	3,300,000

資料: 山口県観光客動態調査

山口宇部空港

山口宇部空港は韓国の仁川国際空港との間で連続チャーター便が運航されており、堅調な利用が続いています。平成28年7月に開港50周年を迎える山口宇部空港にとって初の国際定期便就航を目指しています。

Mine秋吉台ジオパーク

ジオパークとは、地球科学的に重要な地質遺産の保護を図りつつ、ジオ(地球)に親しみ、ジオツーリズム(ジオを学ぶ旅)を楽しむ場所のことです。県内では、日本最大級のカルスト台地「秋吉台」や大鍾乳洞「秋芳洞」がある美祢市が、平成27年9月4日「日本ジオパーク」に認定されています。

秋吉台

秋吉台は山口県美祢市中・東部に広がる日本最大のカルスト台地です。毎年2月下旬に行われる山焼きは壮観で、春を呼ぶ年中行事となっています。

秋吉台カルスト展望台からは、360度の大パノラマを堪能でき、県道秋吉台公園線(カルストロード)を走れば車窓からの景色も楽しめます。

秋芳洞

秋吉台の地下には、約450近くもの多くの鍾乳洞があり、中でも日本最大規模を誇るのが秋芳洞です。

山口市から秋芳洞の入り口までの約30キロの道のりは、山口秋吉台公園自転車道が整備されており、豊かな自然を満喫しながら、安全にサイクリングを楽しむことができます。

県内共通 道路施設の老朽化

道路施設の老朽化は、利用者の安全性の確保に支障となるだけでなく、ネットワークの寸断等により社会経済活動の停滞をもたらす恐れがあります。

この地図は、宇部・小野田地域の地理的特徴、交通網、観光資源、および公共施設を詳細に示しています。

- 交通網:** 国道316号、県道435号、490号、493号、19号、2号、19号が主要な道路として示されています。
- 観光資源:** 秋吉台、秋芳洞、ときわ公園、きららビーチ焼野、別府弁天池、秋吉台サファリランド、アクトビレッジおの、リーディングプラザ+文字、宇部新都市、宇部臨空頭脳パークが示されています。
- 公共施設:** 道の駅(おふく、みとう)、美東総合支所、秋芳総合支所、美祢市立病院、美祢市役所、山陽総合支所、小野田・楠企業団地、江沙公園、きららビーチ焼野、ときわ公園、宇部臨空頭脳パーク、宇部臨空頭脳パークが示されています。
- 産業:** 美祢テクノパーク、美祢市化石館、宇部臨空頭脳パークが示されています。

石炭・石灰石等を活用した産業

宇部港・小野田港は、古くから石炭、セメント、石灰石等の取扱いを主とする工業港として発展し、瀬戸内海工業地帯の一翼を担う工業港として地域経済の発展に重要な役割を果たしてきました。宇部港地区⇄小野田港地区の物流等、東西の流動が多く発生しています。

2 主な整備箇所(地域版)

5 宇部・小野田地域のみちづくり

整備が求められる主な路線

I 産業・地域を『支える』

- 物流等の迅速化・円滑化
- 観光客の利便性の向上
- 交流・連携の強化

5-a	地域高規格道路 山口宇部小野田連絡道路
5-b	県道宇部船木線

等

II 人々のいのちを『守る』

- 生活道路等における交通安全対策の推進

5-c	県道美東秋芳西寺線
5-d	県道琴芝際波線

等

III 災害に『備える』

- 広域道路ネットワークの構築や安心・安全な生活道路の整備
- 防災・減災対策の推進
- 橋梁の耐震補強

5-e	国道435号
5-f	県道小野田山陽線

等

IV 未来に『つなぐ』

- 老朽化した道路施設の計画的な修繕・更新等
- 日常的な維持管理の充実・効率化
- 異常気象時等の対応

国道490号
県道山口宇部線

等

- バイパス
- 現道拡幅
- 自歩道整備
- 歩道整備
- 交差点改良
- のり面対策
- 耐震化
- 長寿命化
- スマートインターチェンジ

- 道の駅
- 市役所等



主な整備中箇所

No.	路線名 (工区名等)	内容	道路整備 目標	4つの方針			
				支える	守る	備える	つなぐ
5-1	国道490号 (宇部拡幅)	現道拡幅	部分完成	●	●	●	●
5-2	国道490号 (荒瀬バイパス)	バイパス	部分完成	●	●	●	●
5-3	小郡萩道路 (絵堂萩道路)	バイパス	事業継続	●	●	●	●
5-4	県道小野田山陽線 (日の出)	現道拡幅	事業継続	●	●	●	●
5-5	県道埴生停車場線 (埴生)	現道拡幅	完成	●	●	●	●
5-6	県道江汐公園線 (船木)	現道拡幅	部分完成	●	●	●	●
5-7	国道490号 (琴芝町)	交差点改良	完成	●	●	●	●
5-8	県道宇部船木線 (有帆)	交差点改良	完成	●	●	●	●
5-9	都計道新開作二軒屋線 (小野田～平成町) 〈県道妻崎開作小野田線〉	自歩道整備	完成	●	●	●	●
5-10	県道小野田美東線 (新橋)	耐震化	完成	●	●	●	●
5-11	県道美東秋芳西寺線 (秋吉)	のり面対策	事業継続	●	●	●	●
5-12	国道316号 (美祢トンネル)	長寿命化	事業継続	●	●	●	●
5-13	県道山口宇部線 (権現橋)	長寿命化	完成	●	●	●	●

ここで示す「道路整備目標」は、予算の確保、用地取得等が予定通りに進捗した場合の現時点における目標を示したものです。

2 主な整備箇所(地域版)

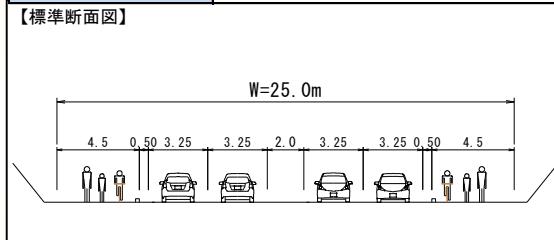
5 宇部・小野田地域の主な整備中箇所

5-1 国道490号(宇部拡幅)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	現道拡幅
● 延長	L=6.0km
● 幅員	W=25.0m
● 着手年度	平成5年度



目的(効果)

- ◆ 宇部市街地における慢性的な渋滞を緩和します。
- ◆ 山陽自動車道宇部ICへのアクセス性を向上します。
- ◆ 緊急輸送道路として災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します。

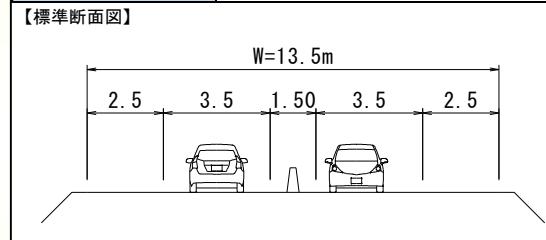


5-3 小郡萩道路(絵堂萩道路)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	バイパス
● 延長	L=15.0km
● 幅員	W=13.5m
● 着手年度	平成26年度



目的(効果)

- ◆ 空港や新幹線駅等の広域交通拠点へのアクセス性を向上します。
- ◆ 萩・美祢地域における広域観光ルートを整備し、観光振興を図ります。
- ◆ 自動車専用道路を整備し、緊急時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します。

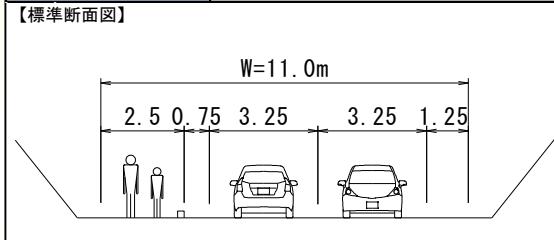


5-2 国道490号(荒瀬バイパス)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	バイパス
● 延長	L=2.8km
● 幅員	W=11.0m
● 着手年度	平成6年度



目的(効果)

- ◆ 車両のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 歩行者の通行の安全を確保します。
- ◆ 緊急輸送道路として災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します。

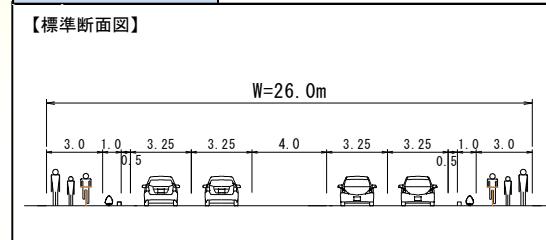


5-4 県道小野田山陽線(日の出)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	現道拡幅
● 延長	L=1.1km
● 幅員	W=26.0m
● 着手年度	平成13年度



目的(効果)

- ◆ 山陽小野田市街地における渋滞を緩和します。
- ◆ 山陽自動車道小野田ICや国道2号厚狭・埴生バイパスへのアクセス性を向上します。
- ◆ 大規模商業施設等へのアクセス性を向上します。



2 主な整備箇所(地域版)

5 宇部・小野田地域の主な整備中箇所

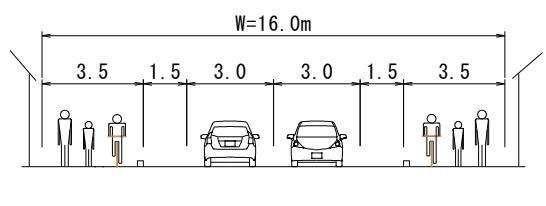
5-5 229 県道埴生停車場線(埴生)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	現道拡幅
● 延長	L=0.2km
● 幅員	W=16.0m
● 着手年度	平成8年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 国道2号厚狭・埴生バイパスやJR山陽本線埴生駅へのアクセス性を向上します。
- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車利用者の通行の安全を確保します。



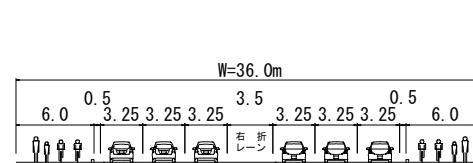
5-7 490 国道490号(琴芝町)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	交差点改良
● 延長	L=0.5km
● 幅員	W=36.0m
● 着手年度	平成17年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 神原交差点における事故の発生を防ぎます。
- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車利用者の通行の安全を確保します。



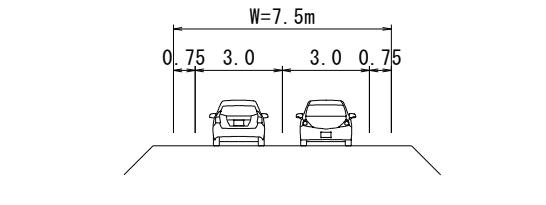
5-6 349 県道江汐公園線(船木)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	現道拡幅
● 延長	L=1.0km
● 幅員	W=7.5m
● 着手年度	平成20年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 道路幅員が狭く大型車とのすれ違いが困難な箇所を解消します。
- ◆ 小野田・楠企業団地や江汐公園へのアクセス性を向上します。



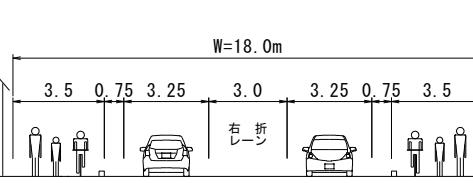
5-8 29 県道宇部船木線(有帆)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	交差点改良
● 延長	L=0.8km
● 幅員	W=18.0m
● 着手年度	平成14年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 有帆交差点における事故の発生を防ぎます。
- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車利用者の通行の安全を確保します。



2 主な整備箇所(地域版)

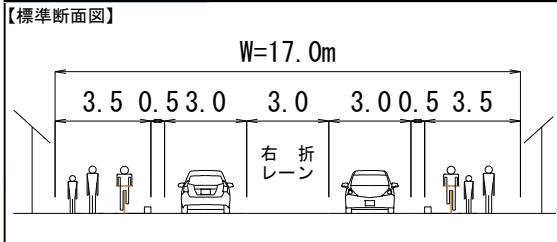
5 宇部・小野田地域の主な整備中箇所

5-9 都計道新開作二軒屋線(小野田～平成町) 〈 県道妻崎開作小野田線〉

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	自歩道整備
● 延長	L=0.6km
● 幅員	W=17.0m
● 着手年度	平成26年度



目的(効果)

- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車利用者の通行の安全を確保します。
- ◆ 右折車線を設置するなどの交差点を改良します。

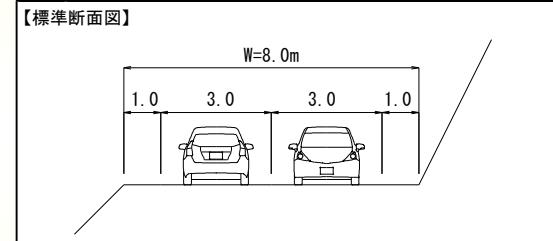


5-11 県道美東秋芳西寺線(秋吉)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	のり面対策
● 延長	L=1.4km
● 幅員	W=8.0m
● 着手年度	平成6年度



目的(効果)

- ◆ 道路利用者の安全な通行や災害時の円滑な緊急輸送を確保します。

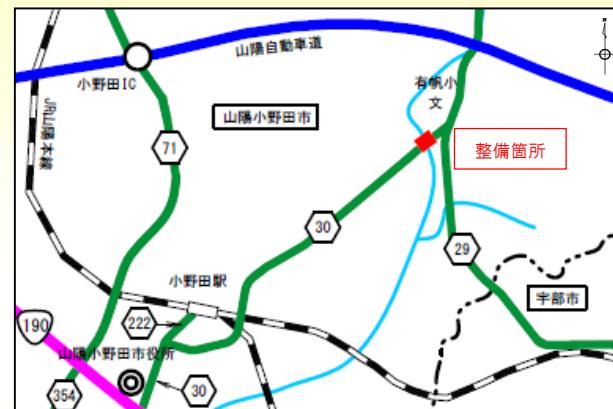
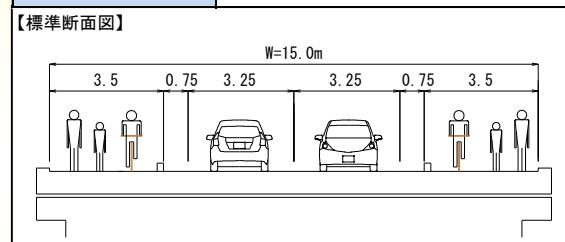


5-10 県道小野田美東線(新橋)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	耐震化
● 延長	L=0.05km
● 幅員	W=15.0m
● 着手年度	平成23年度



目的(効果)

- ◆ 大地震時に落橋に至るような致命的な被害を防止するだけでなく、地震後、橋梁としての機能の回復が速やかに行い得る性能を確保します。

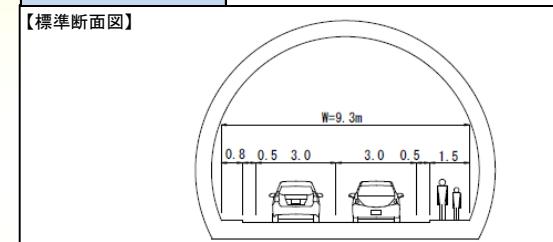


5-12 国道316号(美祿トンネル)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	長寿命化
● 延長	L=1.3km
● 幅員	W=9.3m
● 着手年度	平成28年度



目的(効果)

- ◆ トンネルの定期点検結果を踏まえ、健全度が低下する前に補修や補強等の適切な措置を実施し、施設の長寿命化を図ります。



2 主な整備箇所(地域版)

5 宇部・小野田地域の主な整備中箇所

5-13 6 県道山口宇部線(権現橋)

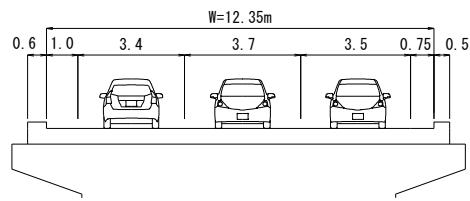
支える 守る 備える つなぐ

●

概要

● 内容	長寿命化
● 延長	L=0.06km
● 幅員	W=12.35m
● 着手年度	平成25年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 橋梁の機能を保持し、長寿命化を図ります。
- ◆ 維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図ります。

